

平成27年度 桜蔭中学校入学試験問題 [社会]

解答はすべて解答用紙に書きなさい。

I 日本の食文化に関する文章を読んで、後の問いに答えなさい。

四季の変化が明確で、南北に細長く、海に囲まれた日本では、独自の食文化を育んできました。日本の「食」に関するさまざまな「習わし」は、2013年、「和食；日本人の伝統的な食文化」と題してユネスコの①無形文化遺産に登録されました。日本人の②伝統的食文化は、自然を尊重する精神に基づき、多様な食材とその素材の味わいをいかす工夫、季節感をあらわす盛り付け、③田植えや収穫にとともなう祭りや正月などの年中行事と深く結びついていることなどを特徴としています。和食に欠かせない調味料として味噌や醤油があげられます。これらはカビの一種である麹菌を利用してつくられる発酵食品です。温暖で湿度が高い日本の気候は麹菌の繁殖に適しており、④大豆を主な原料として、各地でさまざまな味噌や⑤醤油がつくられてきました。昆布、⑥カツオ節、煮干しなどからとる出汁も和食の味付けの基本です。ところで味噌や醤油の起源は、古代中国の発酵食品の「鼓(コ)」や「醬(ジャン)」であるという説が有力です。日本の食文化は、東アジアをはじめとしたアジア各地の食文化ともかかわっています。

これから歴史の流れにそって、日本の食文化がどのように形作られてきたのかをみていきましょう。

日本では、⑦縄文晩期には水田耕作が始まり、その後、米を中心とした食文化が形成されていきます。⑧7世紀以降には、かんがい水路やため池の建設が本格的に進み、鉄製農具が広まりました。食料が増産され富が蓄積されるとともに、古代律令国家が形作られていきました。

奈良時代から平安時代のはじめにかけては、国づくりだけでなく、食生活でも中国の影響を受けました。その後、中国の影響が弱まる中で日本風の文化を育んだ貴族たちは、食生活にも日本的な特色を加え、礼儀作法を整えました。「春はあけぼの」、「夏は夜」がすばらしいと書かれた随筆⑨『A』の中には、出されたものを次々とすぐに食べてしまう大工たちの食事作法を「とてもおかしい」と指摘している場面があります。

⑩源氏が平氏を滅ぼして幕府を開いた時代、中国の影響を受けた禅宗の僧たちが、肉や魚を用いない精進料理を広めました。この際、植物性の料理を肉の味に近づけようと、出汁や調味料に工夫をこらし、調理法が発達しました。また僧たちは「食べることも調理も、修行」と考え、「いただく以上は、食材そのものの持ち味を楽しみ、見た目の美しさにこだわろう」とする価値観を生みました。

⑪室町時代から安土桃山時代にかけて、お茶を飲む風習が広まり、静かにお茶を楽しむ茶の湯が発達しました。茶の湯の広がりや、茶会の際に出される懐石料理を発達させ、味覚だけでなく、客をもてなす心づかいの大切さが説かれるようになりました。このころには料理の内容も充実し、和食の原型が完成しました。人々の間に1日3回食事をとる習慣が起り、うどん、豆腐、こんにゃく、納豆などが広まり、醤油も使われるようになりました。

江戸時代には、大名や村の大きさは⑫Bの収穫高によって示されるなど、Bを中心とした経済システムがとられ、Bの値段の上下により、武士の財政は影響を受けることになりました。江戸幕府は身分制度をもとにした支配を行い、特に人口の8割以上を占める百姓

には様々な税が課されました。農村では、自給自足生活を基本としていましたが、やがて農民たちも⑬貨幣で物を買うようになり、貨幣を必要とするようになりました。一方、町人たちは、百姓に比べると税の負担も軽く、都市では、夜になると灯りがともされ、木綿の着物を着て、茶を飲み、屋台でそばやうどん、てんぷら、すしを食べるなど、食生活を楽しむ町人の姿がみられました。江戸時代後半には料理を教える書物が人気を集め、⑭幕府の高級役人や富裕な人々が、料亭で料理を楽しんだといえます。この頃には、⑮昆布から出汁をとる方法も、関西を中心に広まってきました。

700年ぶりに武士政権が倒れると、日本は西洋を模範とする近代化への道を歩み始めました。天皇を中心とする新しい政権の下で、⑯四民平等、廃藩置県、学制、地租改正などの改革が次々と行われました。風俗や食文化も西洋の影響を受けるようになり、ざんぎり頭や牛鍋など西洋の文化をもてはやす風潮は、⑰「C」とよばれ、人々の生活を変えていきました。日本はこうして急速に近代化を進め、産業を発展させ、世界の強国の仲間入りを果たすために、大陸へ進出するという道を選びました。⑱日清戦争、日露戦争、第一次世界大戦と戦いが続きました。産業が発達するにつれて生活も向上し、都市では西洋風な料理も普及して、カレーやコロッケ、トンカツなどの「洋食」が人気を集めました。また、美食を提供することをめざし、味だけでなく、器や食事空間にもこだわる高級料亭なども登場しました。しかし⑲満州事変以降、日中戦争、太平洋戦争とさらに戦いが続き、人々は「ぜいたくは敵」として耐乏生活を強いられ、食事を楽しむ余裕などはなくなってしまいました。東京をはじめとする諸都市は空襲を受けて廃墟のようになり、広島・長崎に原爆が投下され、戦争は終わりました。

敗戦後の数年間、食料事情はさらに悪化しましたが、やがて経済は復興し、食料不足も解消されていきました。日本は独立を回復し、1964年には東京オリンピックを成功させるほどに経済を発展させました。

今日、健康に良いとして和食は海外で人気を集めており、和食特有の食材が輸出されたりもしています。一方国内では食の洋風化が進み、脂質のとり過ぎや生活習慣病など新たな問題がたくさん起きています。私たちは自分たちの健全な食生活に関心を持つとともに、⑳日本や世界の食料問題からも目をそらすわけにはいきません。

問1 下線部①について、ユネスコの無形文化遺産の保護に関する条約は2003年に採択されましたが、日本では、無形の文化財は1950年に制定された文化財保護法によって守られてきました。日本において文化財を守る仕事をしている国の機関を次のあ～えから1つ選び、記号を答えなさい。

- あ 観光庁 い 復興庁 う 特許庁 え 文化庁

問2 下線部②について、食器や調理器具も伝統的食文化を支える重要な役割を果たしてきました。その中には、現在でも特産品としてつくられているものがあります。特産品とその産地の組み合わせとして正しくないものを次のあ～えから1つ選び、記号を答えなさい。

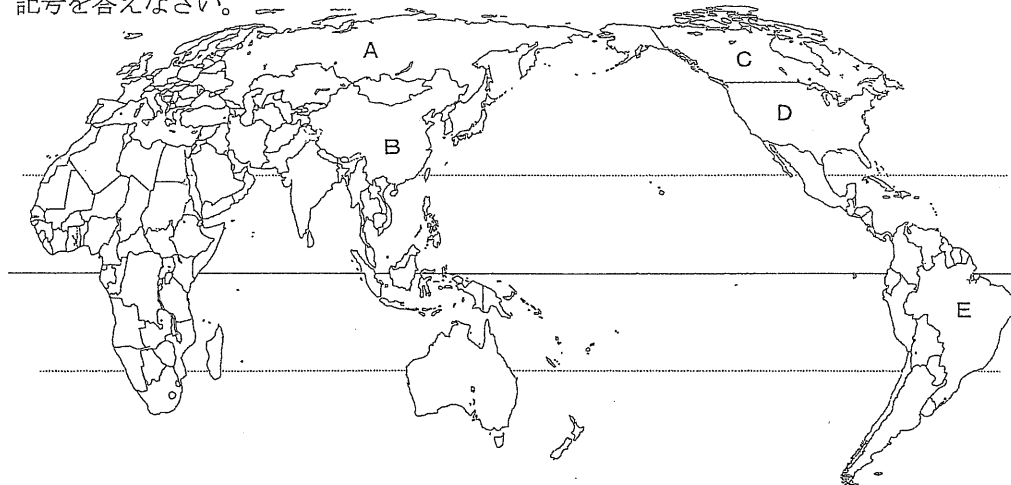
- あ 漆器：福井県 い 陶磁器：岐阜県 う 包丁：岐阜県 え 鉄びん：沖縄県

問3 下線部③について、田植えの最盛期は地域によって異なります。次のあ～えの中で、田植えの最盛期が最も遅い地域を選び、記号を答えなさい。

- あ 九十九里平野 い 庄内平野 う 筑紫平野 え 上川盆地

問4 下線部④に関連する問い(1)～(3)に答えなさい。

(1) 日本では国内で消費する大豆の多くを海外に依存しています。次の世界地図中のA～Eの国々は、日本の主な大豆の輸入先です(2012年)。後のあ～おの各文は、A～Eの国について述べています。地図中のA～Cにあてはまる説明文を後のあ～おから1つずつ選び、記号を答えなさい。



あ 2014年、隣国との間で領土をめぐる紛争が起こった。日本は、この国から原油・液化天然ガス・魚介類なども輸入している。

い 農地面積の割合は国土全体の1割に満たないが、日本には小麦、豚肉、牛肉も輸出している。小説「赤毛のアン」の舞台となった島のある国である。

う この国は世界的な大豆輸入国でもある。1990年代以降急速に経済が発展し、貿易もさかんになり、輸入総額では世界第2位(2011年)である。

え この国の首都は日本との時差が12時間(夏時間は考えない)ある。大豆は、砂糖・オレンジ・コーヒー豆とともにこの国の重要な輸出向け農産物である。

お 世界最大の大豆生産国(2011年)である。この国の農業は、大型農業機械を用いた大規模経営で、遺伝子組み換えなどの高度な技術に支えられている。

(2) 大豆は、味噌や醤油の原料になるほか、食用油、豆乳、豆腐、納豆などさまざまに加工されます。大豆から豆乳をしぼった後に残るものの名称を答えなさい。

(3) 次の文A～Fは、後の[図]で示した大豆とかかわりのある都道府県のいずれかについて述べています。A～Fにあてはまる都道府県名を漢字で答えなさい。

A 畑作の輪作に欠かせない作物として大豆栽培がさかんである。地元産の農水産物を原料とした食料品製造業がさかんで、食料品製造業の出荷額は全国第1位(2011年)である。

B 自家用味噌の原料として大豆を栽培してきたが、大消費地に近いので、今日では未成熟の大豆(枝豆)を収穫して新鮮なまま出荷している。枝豆の収穫量は全国第1位(2011年)である。

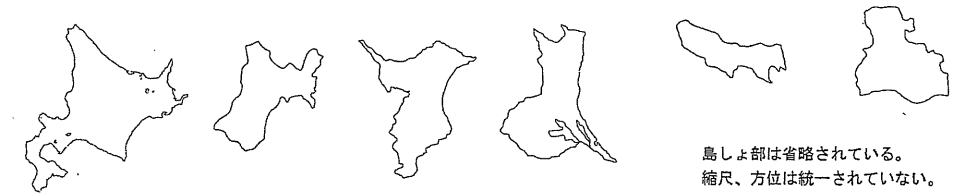
C 田の割合が高い地域で、大豆は転作作物としての作付けが多い。郷土料理の「ずんだもち」は、枝豆をゆでてすりつぶして餡にし、餅にからめたものである。

D おせち料理に使われる黒大豆の産地として有名である。南部には有名な塩の産地があり、原料の入手に便利なので醤油醸造業がさかんになった。薄口醤油の生産拠点である。

E 環境に配慮して、大豆からつくるインクが新聞などの印刷に利用されるようになってきた。情報の発信地であるこの地域は、日本の印刷やそれに関連する工業の中心となっている。

F 納豆が特産品として知られる地域である。南東部の重化学工業地域には、Y字型の掘り込み式の港があり、その港は主要な大豆輸入港でもある。

[図]



問5 文中の下線部⑤について、次の表は、日本における醤油の1人当たり年間購入量と、1人当たり年間出荷量の変化を示しています。1人当たり年間出荷量は、国内の醤油工場から出荷され、国内外で消費される総量を日本の人口で割ったものです。1人当たり年間購入量が大幅に減少しているのに比べ、1人当たり年間出荷量の減少の割合が小さい理由を、本文中に書いてあること以外の点から2つ答えなさい。(解答らんじんに1つずつ記入すること)

醤油の1人当たり年間購入量と1人当たり年間出荷量の変化

年	1人当たり年間購入量(%)	1人当たり年間出荷量(%)
1972	5.6	10.9
1980	4.5	10.2
1990	3.3	9.5
2000	2.8	8.4
2010	2.2	6.6
2013	1.9	6.2

しょうゆ情報センターのH. P. より作成

問6 下線部⑥について、日本のカツオ漁に関連して述べた文として正しいものを次のあ～えから1つ選び、記号を答えなさい。

あ 駿河湾に面する焼津市や薩摩半島南西部にある枕崎市は、カツオの遠洋漁業の基地として栄えてきた。

い 三陸地方は沖に世界有数の好漁場があり、親潮によって北上するカツオの水揚げ量が多いが、2011年、地震と津波で水産業も大きな被害を受けた。

う カツオは古くから一本釣り漁によって獲られてきたが、今日、日本の近海ではカツオ底びき網漁がさかんに行われている。

え 21世紀に入ってからカツオを含め日本人の魚を食べる量が増大する一方で、日本の漁獲量は減少しており、水産物の輸入依存度が高まっている。

問7 下線部⑦について、この時期の水田耕作のあとを残す遺跡を次のあ～えから1つ選び、記号を答えなさい。

あ 三内丸山遺跡    い 板付遺跡    う 登呂遺跡    え 吉野ヶ里遺跡

問8 下線部⑧について、7世紀の出来事を正しく説明する文を次の あ～え から1つ選び、記号を答えなさい。

- あ 雄略天皇と考えられる人物が、多くの国を従えたという内容の手紙を中国の皇帝に送った。
- い 聖武天皇は、仏教の力で社会の不安を鎮め、国を治めようと願い、国ごとに国分寺を建てることを命じた。
- う 中大兄皇子は中臣鎌足とともに蘇我氏を滅ぼし、天皇が役人たちを指導して政治を行う新しい国づくりを進め、戸籍を作り、人々に田を割り当てて耕作させることとした。
- え 飛鳥寺や法隆寺、唐招提寺などの寺院が次々と建てられ、仏教は天皇や豪族の保護を受け、地方にも広がっていった。

問9 下線部⑨について、**A** に適する作品名を漢字で答えなさい。

問10 下線部⑩について、平氏と源氏の争いとは関係のない戦いを次の あ～え から1つ選び、記号を答えなさい。

- あ 壇ノ浦の戦い い 屋島の戦い う 富士川の戦い え 山崎の戦い

問11 下線部⑪について、室町時代の出来事を正しく説明する文を次の あ～え から1つ選び、記号を答えなさい。

- あ 共同で用水路を整えたほか、その土地に適した稲の品種を選んで生産を高めた。また草木灰などの肥料の利用も普及し、力をつけた農村の自立化が見られた。
- い 武士の時代にふさわしい素朴で力強い文化が生まれ、仏の教えをわかりやすく説く新しい仏教が登場し、武士や庶民の間に広まった。
- う 大陸から来た人々により高い技術が伝わり、地域を代表する産業として現在まで受け継がれている有田焼や薩摩焼などが起こった。
- え 水車や牛馬を使用する農耕が広まり、農具にも工夫がこらされ、土を深く耕すことができる備中ぐわが普及した。

問12 下線部⑫について、**B** に適する語句を文中より選び、答えなさい。

問13 下線部⑬について、農民たちは生産量を上げる努力をしたほかに、農業の上でどのような工夫をして、貨幣を得ようとしたか。文中の当時の状況について書かれた部分を読んで、20字以内で答えなさい。

問14 下線部⑭について、幕府の要職をつとめた大名を次の あ～え から1つ選び、記号を答えなさい。

- あ 加賀藩の前田氏 い 彦根藩の井伊氏 う 長州藩の毛利氏 え 仙台藩の伊達氏

問15 下線部⑮について、昆布の利用が広まった理由として最も適する文を次の あ～え から1つ選び、記号を答えなさい。

- あ 長崎貿易がさかんに行われ、中国や東南アジアなどからの多様な食材や外国文化が広まった。
- い 全国を結ぶ流通網が整備され、日本海を回る北前船が北方の産物を運んだ。
- う 仏教の影響が強まり、日本全国で昆布漁がさかんに行われるようになった。
- え 琉球王国を支配下に置いたため、昆布を使った料理が日本に広まった。

問16 下線部⑯について、これらの改革は、必ずしも人々に歓迎されたわけではありませんでした。ここに書かれたこと以外で、地租改正条例が出された年に政府が行った改革で、士族や農民の大きな反発を招いた制度を答えなさい。

問17 下線部⑰について、**C** に適する語句を漢字4字で答えなさい。

問18 下線部⑱に関連する問い(1)(2)に答えなさい。

(1) 日清戦争の終わりから日露戦争の始まりまでの間に起きた出来事について正しく説明する文を次の あ～え から1つ選び、記号を答えなさい。

- あ 外務大臣の陸奥宗光は、イギリスとの間で、ノルマントン号事件の際に問題となったことを解消する内容を含む条約に調印した。
- い 多額の賠償金を得た日本は、その一部を使って富岡製糸場を建設し、外国人技術者を招いた。
- う 小村寿太郎が、輸入される外国製品から日本製品を守るように条約を改正させた。
- え 朝鮮は大韓帝国と国号を改めて、独立国であることを示した。

(2) ヨーロッパで始まった第一次世界大戦に、日本が参戦する際に口実としたことを答えなさい。

問19 下線部⑲の頃の日本の出来事をあげた次の(1)(2)について、それぞれ古い順に並べたときに、2番目にくるものの記号を答えなさい。

- (1) あ 国際連盟から脱退した。  
い 北京の近くで日本軍と中国軍が衝突し、戦争に発展するきっかけとなった。  
う 一部の軍人が首相を暗殺し、軍が政治への関与を強めていった。
- (2) あ アメリカが日本に対する石油の輸出を停止した。  
い 国防のため、人やものを動員できる大幅な権限を政府に与える法律がつけられた。  
う 第二次世界大戦が始まると、日本はドイツ、イタリアと軍事同盟を結んだ。

問20 下線部⑳について述べた文として誤っているものを次の あ～え から1つ選び、記号を答えなさい。

- あ 日本では、米は高い関税で保護されているので、野菜よりも自給率が高い。
- い 食料の輸入量が増えると、フードマイレージが小さくなり環境への負荷が強まる。
- う バイオ燃料が広まると、食料不足や食料価格の上昇が起こることがある。
- え 世界では、農地が砂漠化して食料生産が打撃を受けている地域がある。

問21 日本の歴史について述べた文として正しいものを次の あ～お から2つ選び、記号を答えなさい。

- あ 幕末に外国との貿易が始まると、ものの値段は大幅に上がり、人々の生活が苦しくなったため、大塩平八郎は大阪で打ちこわしを起こして抗議した。
- い 第一次世界大戦の戦勝国の1つになった日本は、国際的な地位を高めたが、国内では大戦末期に米騒動が起こり、その後も労働争議や小作料の引き下げを求める農民運動が起こった。
- う 朝鮮戦争が勃発すると、日本はアメリカで開かれた講和会議で、中国、ソ連を含まない世界の48か国と平和条約を結び、独立を回復した。ソ連との国交を回復した1956年には国際連合への加盟を認められ、国際社会へも復帰した。
- え 1972年に沖縄が日本に返還され、同年中国との国交が正常化した。その後、韓国とも国交が結ばれたが、北朝鮮との国交は今も開かれていない。
- お 1970年代に起きた第一次石油危機で日本の高度経済成長は終わり、この後はずっと現在にいたるまで貿易赤字が続いている。

